

日本原子力学会標準委員会 リスク専門部会 レベル 3PRA 分科会

第 43 回会合議事録

日時：2025 年 1 月 31 日（金）13:30～15:30

場所：WebEx による Web 会議

出席者：

委員：津崎主査（電中研）、田原幹事（東芝 ESS）、池田（CTC）、岩波（日立 GE）、岡村（原燃）、菅野（VIC）、佐々木（電中研）、神野（原電）、飯本（東大）、高原（JAEA）、廣内（JAEA）、鄭（JAEA）、西（関電）、宮原（MHI）、向原（TEPSYS）、嶋田（JANUS：斯波委員代理）【16 名】

常時参加者：大沼（原電エンジニアリング）、角谷（JANUS）、黒川（電中研）、鈴木（NRA）、新添（NRA：和田山常時参加者代理）、内藤（電中研）、小形（原電）【7 名】

欠席委員：木村幹事（JAEA）、横山（藤田医科大）、吉田（東電）、大家（NEL）、斯波（JANUS）

議題：

- (1) 前回議事録確認
- (2) 倫理教育について
- (3) レベル 3PRA 標準改定に係る作業について
- (4) その他、今後の予定、状況連絡等

配布資料

P8SC43-0 議事次第

P8SC43-1_第 42 回 L3PRA 分科会議事録(案)

P8SC43-2-1-1_1 章_目的+2 章_適用範囲+3 章_引用規格

P8SC43-2-1-2_解説 1

P8SC43-2-1-3_解説 2

P8SC43-2-1-4_解説 3

P8SC43-2-1-5_解説 4

P8SC43-2-4-1_4 章_用語

P8SC43-2-5-1_5 章_レベル 3PRA の実施手順

P8SC43-2-5-2_附属書 A_レベル 3PRA の品質確保に関する留意事項

P8SC43-2-6-1_6 章_ソースタームの設定

P8SC43-2-6-2_附属書 B_核種基本データの設定方法の例

P8SC43-2-6-3_附属書 C_放出データ設定方法の例

P8SC43-2-6-4_L3 本文新旧比較_6 章

P8SC43-2-6-5_L3 本文新旧比較_附属書 B
P8SC43-2-6-6_L3 本文新旧比較_附属書 C
P8SC43-2-7-1_7 章_気象データの収集及び気象シーケンスの選定
P8SC43-2-7-2_附属書 D_気象データの取り扱い
P8SC43-2-8-1_8 章_大気拡散及び沈着の評価
P8SC43-2-8-2_附属書 E_大気拡散の評価
P8SC43-2-8-3_附属書 F_沈着の評価
P8SC43-2-8-4_解説 6
P8SC43-2-8-5_解説 7
P8SC43-2-8-6_L3PRA 文献確認_8 章大気拡散及び沈着の評価
P8SC43-2-9-1_9 章_サイトデータの収集及び処理
P8SC43-2-9-2_附属書 G_サイトデータの収集及び処理
P8SC43-2-10-1_10 章_被ばく線量評価
P8SC43-2-10-2_附属書 H_被ばく線量評価
P8SC43-2-11-1_11 章_防護対策による線量低減解析
P8SC43-2-11-2_附属書 I_防護対策による線量低減解析
P8SC43-2-11-3_附属書 O_短期的な防護対策の有効性評価の解析事例
P8SC43-2-11-4_解説 5
P8SC43-2-12-1_12 章_健康影響の定量化
P8SC43-2-12-2_附属書 J_健康影響の評価モデル
P8SC43-2-12-3_解説 8
P8SC43-2-12-4_L3 解説「8 疾病に対する放射線影響調査」修正案新旧比較
P8SC43-2-13-1_13 章_経済影響評価
P8SC43-2-13-2_附属書 K_経済影響の評価
P8SC43-2-14-1_14 章_リスクの定量化
P8SC43-2-14-2_附属書 L_リスクの定量化
P8SC43-2-14-3_＜更新作業メモ＞ 14 章、附属書 L のコメント対応
P8SC43-2-14-4_＜更新作業メモ＞ 14 章、附属書 L のコメント対応
P8SC43-2-15-1_15 章_感度解析及び不確実さ解析_更新案
P8SC43-2-15-2_新旧比較_15 章
P8SC43-2-15-3_附属書 M_感度解析及び不確実さ解析の役割_更新案
P8SC43-2-15-4_新旧比較_附属書 M
P8SC43-参考 1 L3PRA 分科会名簿

議事概要

分科会開始時点において委員 20 名中 16 名が出席しており、本会議が決議に必要な定足数を満たしていることを確認した。

(1) 前回議事録確認 (P8SC43-1)

第 42 回議事録案について、承認された。

(2) 倫理教育について

委員全員受講済とのことを確認した。

(3) レベル3PRA標準改定に係る作業について

- ・ 経済影響評価部分について、高原委員に加え、廣内委員を副担当とすることで合意した。

【共通】

- ・ 式の書き方について、「式 (1)」に統一
- ・ 「よう素」とする。
- ・ 入手していない有料の参考文献について、2018 年版と同じであり、アクセスが可能である事が確認されたものについては現状のままとする。
- ・ 表の中の注のフォーマット (*や ¹⁾) について、アスタリスク*を除いて、1),2),3)...とする。
- ・ マイル表記をする場合、必要に応じて〇マイル(約〇km)など、キロメートルの記載を追加する。表などで煩雑になる場合はマイル表記のままとする。

【1 章~3 章】

- ・ 解説の【4 経済影響評価に係る適用範囲】をクロスチェックすることが必要（担当：高原委員、廣内委員）

【4 章】

- ・ 対応無し。

【5 章】

- ・ 「チームの統合者」は、「専門家チームの統合者」とする。

【6 章】

- ・ 核種グループ化の内容を本文へ追加する。
- ・ 下記を実施した。
 - 「原則として」という表現は、JIS では避けるべきとされる表現だが、本文の内容を踏まえ「原則として」のままとした。
 - 「プルームを複数回」は、「プルームを複数」とした。
 - 「事故シーケンスごとに、放出エネルギーを設定する」は、「放出プルームごとに、放出エネルギーを設定する」とした。

【7 章】

- ・ 用語と体裁を修正した。

【8 章】

- ・ 前回のコメントを反映し、一部の用語と体裁を修正した。

【9 章】

- ・ 本文と付属書 G を、コメントの通り修正した。

- 「農業センサス」は、正式名称の「農林業センサス」とする。

【10 章】

- ・ 共通と体裁を修正した。
- ・ 「次式」は、式 (1) とする。

【11 章】

- ・ 移転は長期の防護対策であり、放射性雲通過後の対応のため、「放射性雲」は削除した。
- ・ 単位換算した後、数値の前に「約」を追加した。

【12 章】

- ・ 解説 8 を更新し、参考文献を追加する。

【13 章】

- ・ 共通の部分を統一した。
- ・ 式の書き方を修正していく。
- ・ 表の中の注のフォーマットを修正していく。

【14 章】

- ・ 「リスク定量化することを目的とする」は、「リスク評価することを目的とする」とする。

【15 章】

- ・ 表 M.23、関連する説明文と参考文献を削除することが承認された。
- ・ DDREF と DDREFA について、記載のところの元の参考文献の表現に従うことが確認された。
- ・ DDREF と DDREFA については用語集(4 章)に掲載することとし、文案を作成する。

【16 章】

- ・ 対応無し。

【付属書 B】

- ・ MACCS3.10 の情報を追加し、核種データを修正した。

【付属書 F】

- ・ 表 F.1 の単位を元の参考文献の単位に統一する。具体的に、 $s^{-1} \rightarrow h^{-1}$

【付属書 L】

- ・ マイル表記のところに、約〇キロメートル「mi $\rightarrow$ mi(約〇km)」を入れる。

【付属書 M】

- ・ 表 M.24 を修正し、「Gy」や「Sv」との表現は、元の参考文献の表現「Gy」に従うことを確認した。

【付属書 O】

- ・ 表 O.6、ETE の避難人口の割合 (90%) を追加し、注を削除する。

(4) その他、今後の予定、状況連絡等

- ・ 更新版をブラッシュアップして、リスク専門部会での中間報告に臨む。

- 2 月中に更新版を「さくらぼけっと」にアップロードし、各自チェックする。
- 3 月に、統合ファイルを作成する。
- 文書化の部分は統合ファイル作成する際に確認する。
- 各章より、用語集(4 章)に載せる候補の文案を作成する。
- ・ 次回の分科会は 2025 年 4 月 21 日(月)～22(火)を予定する（後日調整）。

以上